

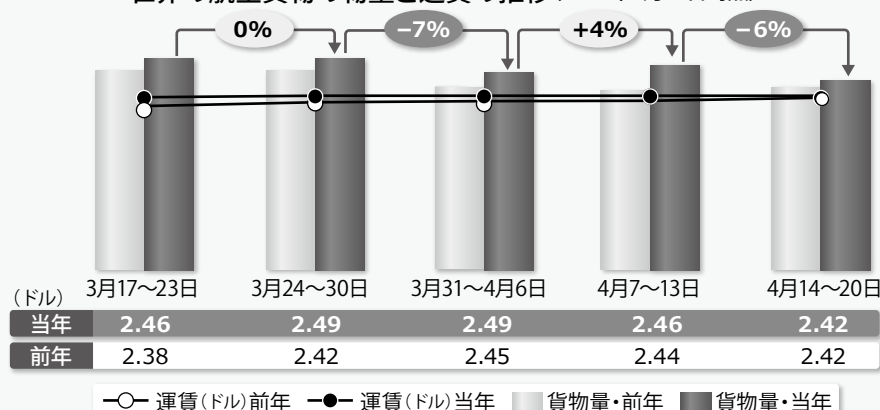
米向け中・香発7%減、4週連続減

■世界の航空貨物

航空貨物情報調査会社のワールドACDによると、2025年4月14～20日（第16週）の世界平均運賃（スポット運賃と契約運賃の平均価格。貨物1キログラム当たり）は前週比0.04ドル減の2.42ドルで、前年同週と同水準だった。貨物量はイースターに伴う休暇などもあり前週比6%減で、アジア太平洋地域発は4%減。そのうち、中国・香港発米国向けは7%減と4週連続減だった。

米国向け（チャーター便含まず）の貨物量を前年同週比でみると、アジア太平洋地域発は3%減。そのうち中国・香港発は16%減、ベトナム発は42%増、台湾発は30%増、タイ発は24%増、日本発は12%増だった。米国向け運賃を前週比でみると、アジア太平洋地域発は8%減の4.93ドル。そのうち中国・香港発は5%減の4.72ドル。また、ベトナム発は28%減、シンガポール発は11%減、台湾発は9%減、タイ発は9%減。その他の詳細はグラフ、図のとおり。

世界の航空貨物の物量と運賃の推移（2025年4月24日時点）



※貨物量はチャージャブルウェイト

（出典＝ワールドACD）

直近4週間の路線別推移（直近2週間とその前の2週間の比較）

